

(別表第1の3)

[認知症対応型共同生活介護用]

# 1. 評価結果概要表

作成日 平成 20 年 9 月 16 日

## 【評価実施概要】

事業所番号	3871200329		
法人名	社会福祉法人 亀天会		
事業所名	グループホーム 鶴翠		
所在地	西条市大野284番地2 (電話) 0898-66-0288		
管理者	佐伯 敏子		
評価機関名	愛媛県社会福祉協議会 利用者支援班		
所在地	愛媛県松山市持田町三丁目8-15		
訪問調査日	平成 20 年 8 月 4 日	評価確定日	平成 20 年 9 月 17 日

【情報提供票より】 (平成 20 年 6 月 19 日事業所記入)

### (1) 組織概要

開設年月日	平成 16 年 8 月 4 日		
ユニット数	2 ユニット	利用定員数計	18 人
職員数	12 人	常勤	11 人, 非常勤 1 人, 常勤換算 11.6 人

### (2) 利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	27,000 円	その他の経費(月額)	9,000 円	
敷金	有( )円 ○ 無			
保証金の有無 (入居一時金含む)	有( )円 ○ 無	有りの場合 償却の有無		
食材料費	朝食	円	昼食	円
	夕食	円	おやつ	円
	または1日当たり	1,000 円		

### (3) 利用者の概要 (平成 20 年 6 月 19 日事業所記入)

利用者人数	18 名	男性	5 名	女性	13 名
要介護 1		名	要介護 2		1 名
要介護 3		11 名	要介護 4		5 名
要介護 5		1 名	要支援 2		名
年齢	平均 85.6 歳	最低	76 歳	最高	96 歳

### (4) 他に事業所として指定等を受けている事業及び加算

指定	あり	指定介護予防認知症対応型共同生活介護
指定	なし	指定認知症対応型通所介護
届出	なし	短期利用型共同生活介護
加算	あり	医療連携体制加算

## 【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

田園風景が残る住宅地に建てられたホームで、同じ敷地内にケアハウスがある。ホームは、母体法人が運営する各種高齢者福祉施設と交流や連携を図りながら、サービス向上にむけて日々支援にあたっている。明るくゆったりしたホームの中で、職員は利用者の思いを尊重し、各自のできることを大事に、自立支援を基本として支援している。また、ホームは地域の盆踊り、祭り、清掃等の行事に参加し、利用者の散歩時には近隣住民と挨拶を交わしたり、近所の方が野菜を届けてくれる等の関係を築いている。

## 【質向上への取組状況】

### ▼ 前回評価での主な改善課題とその後の取組、改善状況 (関連項目: 外部4)

前回の評価後、理念の表現を工夫して具体化し、また金銭管理での家族の確認を検討したうえで従来の方で行うこととしており、居心地の良い共用空間や居室づくりに努めている。なお、鍵をかけない工夫や、災害対策での近隣の実践的な協力についてのさらなる検討を期待する。

### ▼ 今回の自己評価に対する取り組み状況 (関連項目: 外部4)

管理者及び職員は評価の意義を理解したうえで、全職員で自己評価に取り組んでおり、自己評価が日頃の支援の振り返り、気づきになると感じている。

### ▼ 運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み (関連項目: 外部4, 5, 6)

会議では、ホームの実情や行事、外部評価、防災訓練等について報告し、意見をいただいている。会議での意見や地域行事等の情報をサービス向上に活かしている。

### ▼ 家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映 (関連項目: 外部7, 8)

家族等の意見は、来訪時、行事への参加時、運営推進会議の時等に聞き取り、ホームの運営に反映させている。家族の苦情・相談窓口は、内部と外部に分けて文書に明記し、家族に説明している。

### ▼ 日常生活における地域との連携 (関連項目: 外部3)

ホームは地域の盆踊りや秋祭り、清掃等の地域活動に積極的に参加し、また歌や踊りのボランティアを受け入れている。利用者の散歩時には近隣住民と挨拶を交わしたり、近所の方が野菜を届けてくれる等の関係を築いている。

(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名

グループホーム鶴翠

(ユニット名)

1階

記入者(管理者)

氏名

佐伯敏子

評価完了日

平成 20 年 7 月 10 日

(別表第1)

## 自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域密着型サービスとして昨年新しく理念を作り変えた  (外部評価) 利用者主体のケアを支え、地域密着型サービスを目指したホーム独自の理念であり、理念を各ユニットの居間の見やすい所に掲げている。		まだ全員が理解するにはいたっていない
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 職員の意識統一のため、職員会や全体会で話をしている  (外部評価) 管理者は理念を具体化し、職員と共有している。理念の具体化は日々のケアとも関連づけやすく、職員はゆったりと穏やかに利用者に対応したり、一人ひとりの力を活かした自立支援を行う等、理念の実践に向けて取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	(自己評価) 2ヶ月に一度運営推進会議を開き地域の方や家族の方と意見交換をしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 入居者の方と散歩に出た時などあいさつや会話は多いが、近所の人がホームに立ち寄るまでにはなっていない		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会活動や地域の行事に参加している。また運営推進会議に参加してもらっている  (外部評価) ホームは地域の盆踊りや秋祭り、清掃等の地域活動に参加し、歌や踊りのボランティアを受け入れている。また、利用者の散歩時に近隣住民と挨拶を交わしたり、近所の人が野菜を届けてくれる等の関係を築いている。		
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議にて意見交換をおこない、民生委員の方からは地域で暮らす認知症のかたについて話し合いもある		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 評価を生かして見直しをおこない取り組んでいる  (外部評価) 運営者、管理者、職員は評価の意義を理解したうえで、全職員で自己評価に取り組んでおり、職員は自己評価が日頃の支援の振り返り、気づきになると感じている。前回の評価後、理念の表現を工夫して具体化し、金銭管理について家族の確認方法を再検討し、居心地の良い共用空間や居室づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 入居者家族から出た意見を取り入れ職員会にて報告しサービスの向上につながるようになっている  (外部評価) 会議ではホームの実情や行事、外部評価、防災訓練等について報告し、意見をいただいている。そして、会議での意見、地域の情報をサービス向上に活かしている。会議内容や参加メンバーに固定化の傾向がある。	※	報告や意見を聞くだけでなく、消防署や近所の方が参加しての防災訓練等について検討したり、地元の方も参加しての認知症理解のミニ講座を開く等、幅広い立場の方が参加できるような柔軟な会の運営について検討することを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市担当の方と連携し意見交換や相談を行い関係を築いている。管理者はサービス向上連絡会に参加し質の向上に力を注いでいる  (外部評価) 市担当課に利用者の手続きや相談で出向くほか、介護相談員との話し合いを報告したり、定期的に市担当者と話し合う機会があり、ともにサービス向上に取り組んでいる。地域包括支援センターとの連携も進んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会に参加し学んでいる。活用に至ったケースはまだない		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないよう注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会に参加し意識を高めている。日常業務についても注意を払い虐待の防止を徹底している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 不安、疑問点はそのままにせず、十分な説明と話し合いをおこなっている		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員の方の訪問がある。また居室や相談室にて意見を聞かせてもらっている		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 毎月日常生活報告書を家族に送っている。状況に応じて電話連絡をおこなっている  (外部評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態は、担当職員が毎月「日常生活報告書」を作成して家族に送り、状態変化時は電話で連絡している。可能な利用者については小額を自己管理しているケースもあるが、基本的には家族管理の元、ホームで小額を預かり、毎月個別の出納帳をコピーして家族に送っている。金銭管理の方法については運営推進会議で報告し、家族にも現状の取り扱いで問題ないとの確認を得た上で継続している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設けている。面会時には、直接意見がないかを聞いている。  (外部評価) 家族等の意見は、来訪時、行事への参加時、運営推進会議の時等に聞き、ホームの運営に反映させている。家族の苦情・相談の窓口は、内部と外部に分けて文書に明記し、家族に説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会や全体会にて意見交換をおこなっている		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 入居者の変化に応じ体制が確保できるよう努めている		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 運営者は管理者、職員が離職や移動をしないよう配慮している。代わった場合は利用者へのダメージを防ぐよう努めている  (外部評価) 運営者は職員の異動や離職を最小限にするよう努めている。離職等の場合は新採用職員に前もってホームに来てもらい、レクリエーションへの参加、自己紹介等で早めに利用者と馴染むような配慮をしている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修はリーダー及び介護員、または入職年数に応じた内容で研修に参加しレベルアップを図っている  (外部評価) 運営者は、職員の育成には学習が大切と考え、研修参加を推進している。ホーム内部では月1回の職員会で学習の機会があり、外部ではグループホーム連絡協議会の東予地区研修会に参加したり、ホーム同士の相互訪問を行い、互いに学びあっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 勉強会や相互研修にて交流の場を設けている  (外部評価) 管理者や職員は、地域のホームとネットワークづくりを目指した交流を持ち、相互訪問等で学習したことをサービスの質向上に活かしている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 親睦会や施設交流の機会を設けてストレス軽減に努めている		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 職員の努力、実績を評価し、意欲向上につながるよう声かけをしている。		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 面接をおこない、生活状況など把握し本人が望んでいることを聞き取る		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時から意見や要望を聞いている		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状況判断をしている、他の施設利用を検討することもある		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人と家族同伴でホームを見学していただき少しでも早く馴染めるよう努めている  (外部評価) 入居前に管理者や職員が自宅を訪問して顔見知りになったり、ホームの見学をして雰囲気を知ってもらおう等、徐々に馴染めるよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 季節行事などのしきたりを教えてもらうことがある。支えながら一緒に過ごす関係を築いている  (外部評価) 職員は、利用者と散歩、外気浴、歌、季節の行事、洗濯物たたみ、掃除、調理の下ごしらえ等を、ともに楽しみながら行っており、利用者から生活の知恵や、しきたりについて教わることもある。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には様子を細かく報告したり、家族の思いを聞き取り、協力関係を築いている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 日常生活報告書にてよりよい関係づくりをしている		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 継続的な交流を持っている		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) 入居者同士のかかわりを大切にして孤立しないよう努めている		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 可能な限り情報提供をしている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 声かけや会話の中で思いを確認し希望の把握に努めている  (外部評価) 一人ひとりの思いや希望は利用者との会話や行動、申し送りノート等から把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 生活歴を本人家族より聞き取り、生活に活かしている		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の記録から現状を総合的に把握している		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 家族との情報交換や日常生活を過ごす中で課題となっていることを介護計画に反映する  (外部評価) 利用者毎に担当職員が決まっており、担当が中心になって利用者や家族の思いを反映しながら、他の職員と一緒に話し合い、介護計画を作成している。介護計画は行動チェック表で日々のケアと繋げている。また、定期的にアセスメントを行っている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 変化が生じたときには見直しをおこない、家族に報告をしている  (外部評価) 月に1回、介護計画の振り返りを行い、必要時には計画を見直している。利用者の状態に変化が生じた場合は、その都度見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 日々の様子は記録や申し送りにて、情報の共有をしている		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 要望や状況に応じて支援している  (外部評価) 利用者の急な受診や外泊、結婚式への出席、ホームでの家族の宿泊等、ホームはその時々々の要望に応じて多機能性を活かした柔軟な支援に努めている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の行事に参加したり図書館の利用もしている		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ケアマネジャーとの連携はあるが他のサービスの利用はしていない		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議の場で意見交換はあるが実際に実施はしていない		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関の診察と、本人、家族の要望により適切な医療をうけている  (外部評価) 利用者や家族が希望するかかりつけ医への受診支援を行っており、年1回の健康診断も実施している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医の受診体制がある		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師が職員として配置されている。日常の健康管理をしている		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院や家族と情報交換をおこない、早期に退院できるよう努めている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化したときの対応は家族と話し合いをしている  (外部評価) ホームでの重度化や終末期の看取りは可能としており、そのあり方を早い時期から利用者や家族と話し合っている。終末期対応の概略、ケアの要点を記したマニュアルはあるが、実践的な対応となると十分とは言えない面がある。	※	看取りを行ううえで可能なこと、困難、不安等を全職員で話し合い、利用者や家族の関わり、協力医療機関等との連携をどう図るか等を確認し合い、看取りの具体的な体制づくりを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化した場合、主治医と連絡体制を取り対応について話し合いをしている		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 関係者との情報交換を密におこなっている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 一人ひとりに合った声かけや会話を行っている。プライバシーを尊重し個人情報は慎重に取り扱っている  (外部評価) 利用者に丁寧な声かけをしたり、さりげなく食事介助したり、食後の歯磨きを小声で促す等、職員は一人ひとりの誇りを尊重した対応に配慮している。記録類は個人情報保護の観点から事務室で適切に保管している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 利用者と談笑しながらリラックスできる環境を作り本人の思いが自然に出るよう心がけている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個人の個性にあわせ支援している  (外部評価) 自力でゆっくり食事する利用者を温かく見守り、テレビを見たい利用者を見えやすいところまで誘導し、外出したい方と一緒に散歩する等、一人ひとりのペースや希望を大切に支援をしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) その日に着たい衣類を用意している。理美容は家族や施設が支援している		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 季節の旬の食材で料理や利用者の出来ることを職員と共に行っている  (外部評価) 調理の下ごしらえ、食前のお茶配り、食卓拭き等、利用者はそれぞれのできることを行っている。職員は、利用者が自力で食べることを大切に考えており、ゆっくり食べる方を見守り、美味しく食べられるよう支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 手作りのおやつや飲み物は好みの物を準備している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 一人ひとりの排泄パターンを把握して、定期的な誘導をおこなっている		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 体調に配慮して一人ひとりゆっくり楽しまれている。仲が良い方同士は誘い合って入浴を楽しむこともある。  (外部評価) 利用者の状態に合わせて複数の職員で支援する、移動方法を工夫する等の配慮で入浴を楽しめるよう支援している。仲の良い利用者が誘い合って一緒に入浴することもある。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者個々の状況に合わせて支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 一人ひとりの出来ることを役割にしたり、楽しみ事に取り組んでいる  (外部評価) 近くの神社への散歩、歌を唄う、ドライブ、花の水やり、調理の下ごしらえ、掃除、洗濯物たたみ等、利用者の力を活かした楽しみごとや役割の支援を行っている。		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物に出たときには所持しているお金で支払えるよう支援している		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩に出かけたりドライブなど楽しみの支援をしている  (外部評価) 一人ひとりの希望にそって、近くの神社へ散歩に出かけたり、外気浴を楽しんだり、ドライブをしたり、スーパーへ買い物に行ったり、花見に行く等、戸外に出かける機会を確保している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 季節の行楽として普段行けない遠出のドライブを支援している		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者本人が年賀状を家族に書いて出したり、やり取りが出来るようにしている		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) フロアのコーナーは椅子の配置を整えている。居室ではゆっくり話が出来るようにしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 研修や勉強会に参加して拘束のないケアを実践している		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関に関しては交通量の多い道路に面しているため制限をしている  (外部評価) 職員は鍵をかけないケアの意義を理解しているが、交通量の多い道路がすぐそばにあるため、安全性を重視して玄関及び道路に面する居室のガラス戸には鍵をかけている。利用者が外出しそうな時は見守り、一緒に出かけるなどしている。	※	玄関等に鍵をかけて暮らす閉塞感や不安、家族や地域の方の思い等に配慮し、安全を保ちつつ鍵をかけないケアの実践が望まれる。機会を見て、職員、家族、その他関係者等も加わっての検討を期待する。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中はフロアにて見守りや声かけが出来る状態にある		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 安全確認を必ずおこなっている		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 一人ひとりの状態を把握し事故防止に取り組んでいる		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 職員は研修会に参加し急変や事故発生時には初期対応が出来るようにしている		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練や避難方法を消防署立会いの下で実施している。自治会長と話し合い協力関係を築いている  (外部評価) 年2回、同じ敷地内のケアハウスと合同で、消防署も参加して防災訓練を行っている。訓練は夜間想定でも行い、避難場所も確認し合っている。自治会の協力が得られる仕組みがあるが、近所の方の具体的な協力体制までは確立していない。	※	いざという時にはケアハウスをはじめ近所にある同一法人の施設の応援体制があるとはいえ、職員主体の誘導には限界がある。地域の協力は心強いと、日頃から地域の方と話し合いをもち、一緒に訓練を行う等の実践的な取り組みを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	(自己評価) ケアプランの説明時にリスクについて説明し対応を話し合っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 状態変化や異常が見られるときにはバイタル測定をおこない主治医と相談している		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の管理は看護師が行っている。職員は個別の服薬表を確認し理解している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握し体操や水分補給行い、自立に向けた支援をしている		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後各利用者に応じた口腔ケアを実施している		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士が献立を作成している。利用者の摂取状況、水分量を把握し個別対応をしている  (外部評価) 栄養バランスやカロリーに配慮した献立をホームの栄養士がたてている。食べる量は都度チェックし、水分量は概ね把握している。一人ひとりの力量に合った食事の介助を行い、利用者の状態に応じて刻み食にする等の配慮をしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症に対するマニュアルが作成されている。予防のため手洗い、うがい、消毒を徹底している		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材の管理や調理器具の消毒をしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関にはスロープがあり車いすでも出入りしやすいようになっている		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共有空間は開放的で明るい。テーブルには季節の花を飾っている  (外部評価) 居間、食堂、浴室、トイレ等は明るく、ゆったりとした造りで、気になる音や匂いはない。居間には畳の間があり、ゆったりしたソファ、大きいテレビ、見やすい時計やカレンダー、手作りの作品等を置き、心地よく過ごせる雰囲気がある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロア内には椅子やソファを用意し個々の好きなどころで過ごせるようしている		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族の写真、使い慣れた家具、お位牌を置いて安心して過ごせる場所になっている  (外部評価) 居室は使い慣れた机やイス、衣装箱、時計、家族の写真等を持ち込み、利用者が居心地よく過ごせる部屋となっている。		全員の方に使い慣れたものがあるとは言えない。家族には持ってきていただくよう話している

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気は適宜行っている。温度計にて室温調整している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 段差がなく手すりを設置している。安全な生活を確保している		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレ、浴室、居室には表札や表示をしてわかりやすくしている		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 花や野菜を育て成長を見て楽しんだり、収穫の喜びを得ている		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	1 ほぼ全ての利用者の (自己 ② 利用者の2/3くらいの 評価) 3 利用者の1/3くらいの 4 ほとんど掴んでいない	一人で過ごしているときには、自然な声かけをして寄り添い、思いを汲み取っている。
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	(自己 ① 毎日ある 評価) 2 数日に1回程度ある 3 たまにある 4 ほとんどない	おやつ、食事の時やだんらんの時にもゆっくり座り、会話を楽しんだり、歌をうたっている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	穏やかな生活をしていただくために、希望を取り入れ本人のペースで過ごしている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	個々に応じた支援や声かけを行うことで笑顔で意欲的に過ごせている。またレクリエーションや散歩の時には普段と違った楽しそうな姿がみられる。
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	行きたいところへ出来るだけ出かけるようにしている
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	(自己 ① ほぼ全ての利用者が 評価) 2 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	看護師の配置により常に健康チェックを受けられる。定期的な診察を受け、体調に応じ主治医へ連絡をする体制にある
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	(自己 1 ほぼ全ての利用者が 評価) ② 利用者の2/3くらいが 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	全ての希望に対応は難しいが状況を判断し出来る限りの支援をしている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	(自己 1 ほぼ全ての家族と 評価) ② 家族の2/3くらいと 3 家族の1/3くらいと 4 ほとんどできていない	運営推進会議や面会時には意見交換を行い、話しやすい状況を作ることで、信頼関係ができています。意見箱の設置をしています。
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	(自己 1 ほぼ毎日のように 評価) 2 数日に1回程度 ③ たまに 4 ほとんどない	家族、友人の面会が多いが、地域の人たちが訪ねてくることはほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議に参加している自治会長を通じて地域の方々との関係も少しずつ築けている
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔を絶やさず入居者の方と会話を楽しみ、季節行事やイベントを行い入居者の方と一緒に生活を楽しんでいる
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	一人ひとりに合った対応をしている。要望や思いを汲み取りそれにこたえるよう努めている
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	面会時家族からの話として「季節行事や外出をおこなったり、ゆったりと対応することが家族にはしてあげられなかった。ここでしてもらっている」と、言ってくれる

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ 職員のレベルアップ (学習会、研修会の参加 参加した職員は職員会で報告をおこない全体のレベルアップを図る)
- ・ 利用者との信頼関係 個々に応じた対応や声かけ



(別表第1の2)

## 自己評価及び外部評価結果表

### サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

#### I. 理念に基づく運営

1. 理念の共有
2. 地域との支えあい
3. 理念を実践するための制度の理解と活用
4. 理念を実践するための体制
5. 人材の育成と支援

#### II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援

1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援

#### III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント

1. 一人ひとりの把握
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し
3. 多機能性を活かした柔軟な支援
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働

#### IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

1. その人らしい暮らしの支援
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり

#### V. サービスの成果に関する項目

**ホップ 職員みんなで自己評価!**  
**ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!**  
**ジャンプ 評価の公表で取り組み内容をPR!!!**

ーサービス向上への3ステップー  
 “愛媛県地域密着型サービス評価”

#### 【記入方法】

- 指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議の上記入すること。
  - 各自己評価項目について、「取り組みの事実」を記入し、取組みたいに※を付け、適宜その内容を記入すること。
  - 「取り組みの事実」は必ず記入すること。
- (注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

#### ※用語について

- 家族等＝家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含む。  
(他に「家族」に限定する項目がある)
- 運営者＝事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。
- 職員＝「職員」には、管理者および非常勤職員を含む。
- チーム＝一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意。  
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含む。

事業所名 グループホーム鶴翠

(ユニット名) 2階

記入者(管理者)  
氏名 佐伯敏子

評価完了日 平成 20 年 7 月 10 日

(別表第1)

自己評価及び外部評価票

【セル内での改行は「Alt+Enter」です。】

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>I. 理念に基づく運営</b>					
<b>1. 理念と共有</b>					
1	1	○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	(自己評価) 地域密着型サービスとして昨年新しく理念を作り変えた  (外部評価) 利用者主体のケアを支え、地域密着型サービスを目指したホーム独自の理念であり、理念を各ユニットの居間の見やすい所に掲げている。		まだ全員が理解するにはいたっていない
2	2	○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	(自己評価) 理念に基づき職員一同家庭的な環境に近づけるよう、職員会ユニット会で話をしながら取り組んでいる  (外部評価) 管理者は理念を具体化し、職員と共有している。理念の具体化は日々のケアとも関連づけやすく、職員はゆったりと穏やかに利用者に対応したり、一人ひとりの力を活かした自立支援を行う等、理念の実践に向けて取り組んでいる。		
3		○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	(自己評価) 2ヶ月に一度運営推進会議を開き地域の方や家族の方と意見交換をしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. 地域との支えあい</b>					
4		○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	(自己評価) 散歩などに出かけたときにはあいさつや会話をして声を掛け合っている		
5	3	○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	(自己評価) 自治会活動や地域の行事に参加し交流している。また運営推進会議にて自治会長さんや民生委員の方と情報交換をしている  (外部評価) ホームは地域の盆踊りや秋祭り、清掃等の地域活動に参加し、歌や踊りのボランティアを受け入れている。また、利用者の散歩時に近隣住民と挨拶を交わしたり、近所の人が野菜を届けてくれる等の関係を築いている。		自治会長さんからの情報や、市の広報から行事や活動を知り参加をしたり交流を深めていきたい
6		○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	(自己評価) 運営推進会議にて意見交換をおこない、民生委員の方からは地域で暮らす認知症のかたについて話し合いもある		
<b>3. 理念を実践するための制度の理解と活用</b>					
7	4	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	(自己評価) 運営者、管理者、職員は評価を実施する意義を理解している評価を受けたあとは見直しをおこない改善に努めている  (外部評価) 運営者、管理者、職員は評価の意義を理解したうえで、全職員で自己評価に取り組んでおり、職員は自己評価が日頃の支援の振り返り、気づきになると感じている。前回の評価後、理念の表現を工夫して具体化し、金銭管理について家族の確認方法を再検討し、居心地の良い共用空間や居室づくりに努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
8	5	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	(自己評価) 入居者家族から出た意見を取り入れ職員会にて報告しサービスの向上につながるようになっている  (外部評価) 会議ではホームの実情や行事、外部評価、防災訓練等について報告し、意見をいただいている。そして、会議での意見、地域の情報をサービス向上に活かしている。会議内容や参加メンバーに固定化の傾向がある。	※	報告や意見を聞くだけでなく、消防署や近所の方が参加しての防災訓練等について検討したり、地元の方も参加しての認知症理解のミニ講座を開く等、幅広い立場の方が参加できるような柔軟な会の運営について検討することを期待する。
9	6	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	(自己評価) 市担当の方と連携し意見交換や相談を行い関係を築いている管理者はサービス向上連絡会に参加している  (外部評価) 市担当課に利用者の手続きや相談で出向くほか、介護相談員との話し合いを報告したり、定期的に市担当者と話し合う機会があり、ともにサービス向上に取り組んでいる。地域包括支援センターとの連携も進んでいる。		
10		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	(自己評価) 研修会に参加し勉強している		
11		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価) 勉強会に参加し意識を高めている。日常業務についても注意を払っている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>4. 理念を実践するための体制</b>					
12		○契約に関する説明と納得 契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価) 十分な説明と話し合いを行っている。解約時にはその後の対応も視野にいれている		
13		○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 介護相談員の方が訪問してくださっている。また居室や相談室にて意見を聞かせてもらっている		
14	7	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々に合わせた報告をしている	(自己評価) 状況に応じて電話連絡している、また毎月報告書を送っている  (外部評価) 利用者の暮らしぶりや健康状態は、担当職員が毎月「日常生活報告書」を作成して家族に送り、状態変化時は電話で連絡している。可能な利用者については小額を自己管理しているケースもあるが、基本的には家族管理の元、ホームで小額を預かり、毎月個別の出納帳をコピーして家族に送っている。金銭管理の方法については運営推進会議で報告し、家族にも現状の取り扱いで問題ないとの確認を得た上で継続している。		
15	8	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価) 意見箱を設けている。面会時など意見を聞かせてもらう体制になっている  (外部評価) 家族等の意見は、来訪時、行事への参加時、運営推進会議の時等に聞き、ホームの運営に反映させている。家族の苦情・相談の窓口は、内部と外部に分けて文書に明記し、家族に説明している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
16		○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価) 職員会や全体会にて意見交換をおこなっている		
17		○柔軟な対応に向けた勤務調整 利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	(自己評価) 入居者の変化に応じ勤務者が確保できるよう努めている		
18	9	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	(自己評価) 運営者は管理者、職員が離職や移動をしないよう配慮している。代わった場合は利用者へのダメージを防ぐよう努めている  (外部評価) 運営者は職員の異動や離職を最小限にするよう努めている。離職等の場合は新採用職員に前もってホームに来てもらい、レクリエーションへの参加、自己紹介等で早めに利用者と馴染むような配慮をしている。		
<b>5. 人材の育成と支援</b>					
19	10	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価) 研修はリーダー及び介護員、また入職年数に応じた内容で研修を受け、レベルアップを図っている。働きながらヘルパー2級を取得した職員がいる  (外部評価) 運営者は、職員の育成には学習が大切と考え、研修参加を推進している。ホーム内部では月1回の職員会で学習の機会があり、外部ではグループホーム連絡協議会の東予地区研修会に参加したり、ホーム同士の相互訪問を行い、互いに学びあっている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
20	11	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	(自己評価) 勉強会や相互研修にて交流の場を設けている  (外部評価) 管理者や職員は、地域のホームとネットワークづくりを目指した交流を持ち、相互訪問等で学習したことをサービスの質向上に活かしている。		
21		○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	(自己評価) 親睦会や施設交流の機会を設けてストレス軽減の環境作りに取り組んでいる		
22		○向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	(自己評価) 運営者は勤務状況や努力、実績を把握し、意欲向上につながるよう声かけをおこなうなど、職員個々に行っている		
<b>II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援</b>					
<b>1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応</b>					
23		○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 面談をおこない、生活状況など把握し本人が望んでいることを聞き取る		
24		○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	(自己評価) 相談時から意見や要望を聞いている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25		○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	(自己評価) 状況や状態を把握し他の施設利用を考えることもある		
26	12	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	(自己評価) 本人と家族同伴でホームを見学していただき少しでも早く馴染めるよう努めている  (外部評価) 入居前に管理者や職員が自宅を訪問して顔見知りになったり、ホームの見学をして雰囲気を知ってもらおう等、徐々に馴染めるよう工夫している。		
<b>2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援</b>					
27	13	○本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	(自己評価) 昔ながらの知恵を教えてもらったりしながら一緒に過ごす関係を築いている  (外部評価) 職員は、利用者と散歩、外気浴、歌、季節の行事、洗濯物たたみ、掃除、調理の下ごしらえ等を、ともに楽しみながら行っており、利用者から生活の知恵や、しきりについて教わることもある。		
28		○本人と共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	(自己評価) 面会時には様子を細かく報告したり、家族の思いを聞き取り、協力関係を築いている		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
29		○本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	(自己評価) 日常生活報告書にてよりよい関係づくりをしている		
30		○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	(自己評価) 継続的な交流を持っている		
31		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	(自己評価) レクリエーションや行事参加等により自然にかかわりが持てるよう努めている		
32		○関係を断ち切らない取り組み サービス利用（契約）が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	(自己評価) 可能な限り情報提供をしている		
<b>Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント</b>					
<b>1. 一人ひとりの把握</b>					
33	14	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 声かけや会話の中で思いを確認するようにしている  (外部評価) 一人ひとりの思いや希望は利用者との会話や行動、申し送りノート等から把握するよう努めている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
34		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 生活歴を本人家族より聞き取り、生活に活かしている		
35		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	(自己評価) 日々の記録から現状を総合的に把握している		
<b>2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し</b>					
36	15	○チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	(自己評価) 日常生活を過ごす中で感じたことや課題となっていることを介護計画に反映する  (外部評価) 利用者毎に担当職員が決まっており、担当が中心になって利用者や家族の思いを反映しながら、他の職員と一緒に話し合い、介護計画を作成している。介護計画は行動チェック表で日々のケアと繋げている。また、定期的なアセスメントを行っている。		
37	16	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	(自己評価) 変化が生じたときには見直しをおこない、家族に報告をしている  (外部評価) 月に1回、介護計画の振り返りを行い、必要時には計画を見直している。利用者の状態に変化が生じた場合は、その都度見直している。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
38		○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	(自己評価) 生活記録や申し送り帳に日々記入し、情報の共有をしている		
<b>3. 多機能性を活かした柔軟な支援</b>					
39	17	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	(自己評価) 要望や状況に応じて支援している  (外部評価) 利用者の急な受診や外泊、結婚式への出席、ホームでの家族の宿泊等、ホームはその時々々の要望に応じて多機能性を活かした柔軟な支援に努めている。		
<b>4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働</b>					
40		○地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	(自己評価) 地域の行事に参加したり図書館の利用もしている		
41		○他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	(自己評価) ケアマネジャーとの連携はあるが他のサービスの利用はしていない		
42		○地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	(自己評価) 運営推進会議の場で意見交換はあるが実際に実施はしていない		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
43	18	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	(自己評価) 協力医療機関の診察と、本人、家族の要望により適切な医療をうけている  (外部評価) 利用者や家族が希望するかかりつけ医への受診支援を行っており、年1回の健康診断も実施している。		
44		○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	(自己評価) 専門医の受診体制がある		
45		○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	(自己評価) 看護師が職員として配置されている。日常の健康管理をしている		
46		○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	(自己評価) 病院や家族と情報交換をおこない、早期に退院できるよう努めている		
47	19	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	(自己評価) 重度化したときの対応は家族と話し合いをしている  (外部評価) ホームでの重度化や終末期の看取りは可能としており、そのあり方を早い時期から利用者や家族と話し合っている。終末期対応の概略、ケアの要点を記したマニュアルはあるが、実践的な対応となると十分とは言えない面がある。	※	看取りを行ううえで可能なこと、困難、不安等を全職員で話し合い、利用者や家族の関わり、協力医療機関等との連携をどう図るか等を確認し合い、看取りの具体的な体制づくりを期待する。

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
48		○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	(自己評価) 重度化した場合、主治医と連絡体制を取り対応について話し合いをしている		
49		○住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	(自己評価) 関係者との情報交換を密におこなっている		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1) 一人ひとりの尊重					
50	20	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	(自己評価) 個々に合った声かけや会話を行っている。プライバシーを尊重し個人情報は慎重に取り扱っている  (外部評価) 利用者に丁寧な声かけをしたり、さりげなく食事介助したり、食後の歯磨きを小声で促す等、職員は一人ひとりの誇りを尊重した対応に配慮している。記録類は個人情報保護の観点から事務室で適切に保管している。		
51		○利用者の希望の表出や自己決定の支援 本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	(自己評価) 本人の思いが自然に出るような話題作りを心がけている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
52	21	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 個人の個性にあわせ支援している  (外部評価) 自力でゆっくり食事する利用者を温かく見守り、テレビを見たい利用者を見えやすいところまで誘導し、外出したい方と一緒に散歩する等、一人ひとりのペースや希望を大切に支援をしている。		
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援					
53		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	(自己評価) 季節に合った衣類を用意している。理美容は家族や施設が支援している		
54	22	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 季節の旬の食材で料理や利用者の出来ることを職員と共に行っている  (外部評価) 調理の下ごしらえ、食前のお茶配り、食卓拭き等、利用者はそれぞれのことを行っている。職員は、利用者が自力で食べることを大切に考えており、ゆっくり食べる方を見守り、美味しく食べられるよう支援している。		
55		○本人の嗜好の支援 本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	(自己評価) 手作りのおやつや飲み物は好みの物を取り入れている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
56		○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握して、定期的な誘導を行い失禁の減少につなげている		
57	23	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	(自己評価) 体調に配慮して一人ひとりゆっくり楽しませている  (外部評価) 利用者の状態に合わせて複数の職員で支援する、移動方法を工夫する等の配慮で入浴を楽しめるよう支援している。仲の良い利用者が誘い合って一緒に入浴することもある。		
58		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々の状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	(自己評価) 利用者個々の状況に合わせて支援している		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
59	24	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	(自己評価) 出来ることを役割にしたり、楽しみ事に取り組んでいる  (外部評価) 近くの神社への散歩、歌を唄う、ドライブ、花の水やり、調理の下ごしらえ、掃除、洗濯物たたみ等、利用者の力を活かした楽しみごとや役割の支援を行っている。		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
60		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 買い物に出たときには所持しているお金で支払えるよう支援している		
61	25	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	(自己評価) 散歩に出かけたりドライブなど楽しみの支援をしている  (外部評価) 一人ひとりの希望にそって、近くの神社へ散歩に出かけたり、外気浴を楽しんだり、ドライブをしたり、スーパーへ買い物に行ったり、花見に行く等、戸外に出かける機会を確保している。		
62		○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	(自己評価) 季節の行楽として普段行けない遠出のドライブを支援している		
63		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者本人が年賀状を家族に書いて出したり、やり取りが出来るようにしている		
64		○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	(自己評価) フロアのコーナーや居室にてゆっくり話ができるよう体制を整えている		



自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
(4) 安心と安全を支える支援					
65		○身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	(自己評価) 研修や勉強会に参加して拘束のないケアを実践している		
66	26	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	(自己評価) 玄関に関しては交通量の多い道路に面しているので制限をしている  (外部評価) 職員は鍵をかけないケアの意義を理解しているが、交通量の多い道路がすぐそばにあるため、安全性を重視して玄関及び道路に面する居室のガラス戸には鍵をかけている。利用者が外出しそうな時は見守り、一緒に出かけるなどしている。	※	玄関等に鍵をかけて暮らす閉塞感や不安、家族や地域の方の思い等に配慮し、安全を保ちつつ鍵をかけないケアの実践が望まれる。機会を見て、職員、家族、その他関係者等も加わっての検討を期待する。
67		○利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	(自己評価) 日中はフロアにて見守りや声かけが出来る状態にある		
68		○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	(自己評価) 安全確認を必ずおこなっている		
69		○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	(自己評価) 個々の状態を把握し事故防止に取り組んでいる		


自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
70		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	(自己評価) 職員は研修会に参加したり勉強会をおこない初期対応が出来るようにしている		
71	27	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	(自己評価) 避難訓練や避難方法を消防署立会いの下で実施している。自治会長と話し合い協力関係を築いている  (外部評価) 年2回、同じ敷地内のケアハウスと合同で、消防署も参加して防災訓練を行っている。訓練は夜間想定でも行い、避難場所も確認し合っている。自治会の協力が得られる仕組みがあるが、近所の方の具体的な協力体制までは確立していない。	※	いざという時にはケアハウスをはじめ近所にある同一法人の施設の応援体制があるとはいえ、職員主体の誘導には限界がある。地域の協力は心強いため、日頃から地域の方と話し合いをもち、一緒に訓練を行う等の実践的な取り組みを期待する。
72		○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にした対応策を話し合っている	(自己評価) ケアプランの説明時にリスクについて説明し対応を話し合っている		
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
73		○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	(自己評価) 状態変化や異常が見られるときにはバイタル測定をおこない主治医と相談している		
74		○服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 薬の管理は看護師が行っている。職員は個別の服薬表を確認し理解している		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
75		○便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	(自己評価) 個々の排泄パターンを把握し体操や水分補給行い、自立に向けた支援をしている		
76		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	(自己評価) 毎食後各利用者に応じた口腔ケアを実施している		
77	28	○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 栄養士が献立を作成している。利用者の摂取状況、水分量を把握し個別対応をしている  (外部評価) 栄養バランスやカロリーに配慮した献立をホームの栄養士がたてている。食べる量は都度チェックし、水分量は概ね把握している。一人ひとりの力量に合った食事の介助を行い、利用者の状態に応じて刻み食にする等の配慮をしている。		
78		○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している（インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等）	(自己評価) 感染症に対するマニュアルが作成されている。予防のため手洗い、うがい、消毒を徹底している		
79		○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	(自己評価) 食材の管理や調理器具の消毒をしている		

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
<b>2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり</b>					
<b>(1) 居心地のよい環境づくり</b>					
80		○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	(自己評価) 玄関にはスロープがあり車いすでも出入りしやすいようになっている		
81	29	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 共有空間は開放的で明るい。テーブルには季節の花を飾っている  (外部評価) 居間、食堂、浴室、トイレ等は明るく、ゆったりとした造りで、気になる音や匂いはない。居間には畳の間があり、ゆったりしたソファ、大きいテレビ、見やすい時計やカレンダー、手作りの作品等を置き、心地よく過ごせる雰囲気がある。		
82		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	(自己評価) フロア内には椅子やソファを用意し個々の好きなどで過ごせるようしている		
83	30	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのもを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	(自己評価) 家族の写真、使い慣れた家具を置いて、安心して過ごせる場所になっている  (外部評価) 居室は使い慣れた机やイス、衣装箱、時計、家族の写真等を持ち込み、利用者が居心地よく過ごせる部屋となっている。		全員の方に馴染みの物が多いとは言えない、家族に持ってきていただくよう伝えている

自己評価	外部評価	項目	取組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	※印 (取組みたい又は取組みを期待したい項目)	取組みたい又は取組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
84		○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のよどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	(自己評価) 換気は適宜行っている。温度計にて室温調整している		
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり					
85		○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	(自己評価) 段差がなく手すりを設置している。安全な生活を確保している		
86		○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	(自己評価) トイレ、浴室、居室には表札や表示をしている		
87		○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	(自己評価) 花や野菜を育てて成長や収穫を楽しまれている		

(注)

- 1  部分は自己評価と外部評価の共通評価項目。
- 2 全ての自己評価又は外部評価の項目に関し、具体的に記入すること。

V. サービスの成果に関する項目			
項目	取り組みの成果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	① ほぼ全ての利用者の ② 利用者の2/3くらいの ③ 利用者の1/3くらいの ④ ほとんど掴んでいない	個々の生活歴を把握し、コミュニケーションを多く持つことで、利用者の意向をつかむよう努力している
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	① 毎日ある ② 数日に1回程度ある ③ たまにある ④ ほとんどない	おやつ、食事の際は一緒に楽しく過ごすようにしている。またテレビ鑑賞時もゆったりと過ごしている
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	利用者の希望を取り入れ、個々のペースで暮らしている
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	レクリエーションなど体を動かすことで他者との会話も増え、積極的な姿がみられる。散歩やドライブなどでは普段と違った生き生きした姿がみられる
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	行きたいところへ出来るだけ出かけられるよう支援している
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	看護師の配置により昼夜問わず電話連絡出来る体制にある。定期的な診察、バイタル測定を受け体調に不安なく過ごせている
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	① ほぼ全ての利用者が ② 利用者の2/3くらいが ③ 利用者の1/3くらいが ④ ほとんどいない	すべての要望を聞き入れることは難しいが、その時々々の状況を判断し出来る限りの支援をしている
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	① ほぼ全ての家族と ② 家族の2/3くらいと ③ 家族の1/3くらいと ④ ほとんどできていない	運営推進会議や面会時には意見交換を行い、話しやすい状況を作ることで、信頼関係ができています。意見箱の設置をしている
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	① ほぼ毎日のように ② 数日に1回程度 ③ たまに ④ ほとんどない	家族、友人の面会が多いが、地域の人たちが訪ねてくることはほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所を○印で囲むこと)	判断した具体的根拠
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが広がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	1 大いに増えている (自己 ② 少しずつ増えている 評価) 3 あまり増えていない 4 全くいない	運営推進会議に参加している自治会長を通じて地域の方々との関係も少しずつ築けている
98	職員は、生き活きと働いている	① ほぼ全ての職員が (自己 2 職員の2/3くらいが 評価) 3 職員の1/3くらいが 4 ほとんどいない	笑顔を絶やさず心にゆとりのある介護をしている
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての利用者が (自己 ② 利用者の2/3くらいが 評価) 3 利用者の1/3くらいが 4 ほとんどいない	利用者は要望があればすぐに職員のもとに行き伝えている。職員は要望にこたえるよう努めている
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	1 ほぼ全ての家族等が (自己 ② 家族等の2/3くらいが 評価) 3 家族等の1/3くらいが 4 ほとんどできていない	普段出かけることができない遠くへ外出したり、ドライブに出かけたり楽しめながら生活を送れることに安心されている

## 【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

(自己評価)

- ・ 職員のレベルアップ (学習会、研修会の参加 参加した職員は職員会で報告をおこない全体のレベルアップを図る)
- ・ 利用者との信頼関係